

総合仏教研究所公開講座

日本の祈雨信仰と 龍王の造形

講師 佐々木康之先生
(慶應義塾大学准教授)

[日程] 2024年12月19日(木)

[時間] 15:10~16:50(4時限目)

[場所] 総合仏教研究所 研究室1(3号館4階)

本研究所では、佐々木康之先生(慶應義塾大学)を講師にお迎えし、ご講演いただきます。

どなたでも聴講できますので、ふるってご参加ください。(聴講無料・予約不要)

【講義概要】 雨はいつの時代も人々にとって大きな関心事であり、実りをもたらす雨への祈りは世界中で見られます。古代の日本でも特に仏教の文脈によって祈雨信仰は発達し、様々な儀礼や修法が行われてきました。そこで本尊となったのは水に関わる神々ですが、常に中心にあったのは龍王と、そのパワーの源としての釈迦の存在です。本講義では、主に古代日本における祈雨信仰について、儀礼と本尊の造形の面からその歴史をみていきます。本尊の中でも特に龍王像に着目して、どのような展開を踏まえて成立し、どのように雨を降らせる力を備えたのか、具体的な作例から紐解きます。

【問い合わせ先】 大正大学総合仏教研究所 03-3918-7311(代表)
http://www.tais.ac.jp/library_lab/sobutsu/

※日程等に変更が生じた場合は、随時、上記HP上にてご案内いたします。